

【授業実践振り返りカード】 5月

学校名	本郷小学校	学年	1年
授業者氏名 佐野 登			
題材名 「はみがきのタイミングをみんなでかくにんしよう」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 入学から1ヶ月が過ぎ、学校生活のリズムを掴んできた子どもたちが、 歯みがきに取り組む時間に着目し、 「パタカラ歯みがき動画」を見ながら歯みがきをすることを確認することを通して、 歯みがきを継続的に取り組んでいこうとする意識を高めることができる。			
学習材 「パタカラ歯みがき動画」			
成 果 動画を見ながらクラス全員が一斉に決まった時間に歯みがきをすることで、「歯みがきの時間」として毎日確実に歯みがきに取り組むことができている。			
課 題 「パタカラ歯みがき動画」の画面に見入ってしまって、歯みがきをする手が止まってしまっている子がいる。歯みがきに意識が向くように声がけをしていく。			

学校名	本郷小学校	学年	2 学年
授業者氏名 辰野 亘			
題材名 「 音楽をかけて歯みがきを意識しよう 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、〇〇に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、〇〇することを通して (本時の中核的な学習活動)、〇〇する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。			
主 眼 歯みがきに取り組むタイミングを話し合い取り組んできた子どもたちが、 歯みがきへの取り組み方に着目し、 音楽をかけて歯みがきに取り組むことを通して、 歯みがきへの意欲を高めることができる。			
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) 歯みがき用の音楽			
成 果 近くのクラスが歯みがき用の音楽をかけていることを知り、自分たちのクラスでもかけてみたいという声があがったため、今回音楽をかけることにした。音楽を聴く中で歯みがきに対して楽しさも感じながら取り組むことができている子どもが見られた。			
課 題 食べ終わるのが遅い子どもは、歯みがきのタイミングが、音楽がおわり食器を返したあとになってしまう。そういった子どもの歯みがきの様子を今後見ていく必要がある。			

学校名	本郷小学校	学年	3 学年
授業者氏名 守屋 久美			
題材名 「 どれだけたくさんかめるかな 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、〇〇に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、〇〇することを通して (本時の中核的な学習活動)、〇〇する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。			
主 眼 よくかむことが大切だということを知っている子どもたちが、 養護教諭や保健体育委員の「30回をめざしてかもう」という呼びかけに着目し、 実際に給食で自分のかむ回数を数えることを通して、 ふだんからかむ回数を意識しながら食事をする態度を養うことができる。			
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) “かみじょうくん” のイラスト 養護教諭や保健体育委員の放送によるよびかけ			
成 果 実際にかむ回数を数えながら食事をしたところ、100回以上かんでみたという児童も。50回以上試してみたという児童も数名いた。30回をめやすにそれぞれ試してみたが、たくさんかむことによって「食べ物がこまかくなった」「どろどろになった」「あまくなった」「つばがいっぱい出た」「あごが痛くなった」など、実感したことが次々と伝えられた。楽しみながら実際にかむ回数を数えることで実感した内容から、昨年度までの体験も想起し3年生なりに発展した学びにつなげていけそうである。			
課 題 限られた時間の中では難しいところもあるが、ふだんからなるべく余裕をもって食事ができるように、また楽しみながら意識して実行していくことができるようにしていきたい。気づきを次の学びや体験につなげていきたい。			

学校名	本郷小学校	学年	4 学年
授業者氏名 塩澤 佑樹			
題材名 歯磨き交流			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、〇〇に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、〇〇することを通して (本時の中核的な学習活動)、〇〇する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。			
主 眼 境小の4年生と調理実習を行った子どもたちが、 調理実習後の過ごし方に着目し、 本郷小の4年生が毎日行っている「イーハー」を流しながらの歯みがきを、 境小の4年生に紹介し共に取り組むことを通して、 学校の垣根を越えて歯と口の健康を向上させていこうと働きかける力を培うことができる。			
学習材 イーハーの動画			
成 果 ・紹介をしたことで境小の4年生から「自分たちもやってみたい。」という反応をいただけたこと。 ・歯と口の健康促進のため、他の学校の様子を知る機会となった。自分達だけでなく、町内の学校でも大切にしているのだと気づけることは、今後の意欲にも繋がっていくと考える。 ・調理実習で作った米粉のクッキーがとても硬く、その点から歯と口の健康に繋がるかもしれないとの気づきを得られた。			
課 題 ・交流後に、この機会を生かした実践が行えていないこと。 ・今年は総合的な学習として食を扱うため、その視点からの実践を考案すること。単発ではなく計画的に。			

学校名	本郷小学校	学年	5年
授業者氏名 横井 聡			
題材名 「歯と口の健康週間に向けて～2年生に早口言葉を紹介しよう～」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 6月に歯と口の健康週間があることを知った子どもたちが、 現在宿題の音読で取り組んでいる早口言葉が、滑舌をよくすることや口腔機能を高めることにつながる点に着目し、 姉妹学級である2年生に自分たちで考えた早口言葉を伝えたり共に活動したりすることを通して、 歯と口の健康への関心を高め、自分や相手の健康づくりについて主体的に考え、実践につなげようとする力を培うことができる。			
学習材			
成 果 ・2年生に伝えるという相手意識をもつことで、言葉を選んだり、分かりやすく伝えたりしようとする意識が見られている。 ・異学年交流を通して、高学年としての役割意識や思いやりの気持ちを育むことができるだろう。また、自分たちで考えた活動が相手に届く経験を通して、主体的に健康づくりに関わろうとする姿につながるだろう。			
課 題 ・面白い早口言葉づくりで終わり、歯や口の健康とのつながりが十分に意識されない可能性があるため、「なぜパタカラ体操では4音が選ばれているか」などを取り上げ、口の運動との関りが意識できるようにしたい。			

学校名 本郷小学校	学年 6年
授業者氏名 清水 友貴子	
題材名 「人と他の動物の体」	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 食べ物が体に入るときと出るときでは形が変わることから、食べ物は体内で変化するのではないかという予想をもった子どもたちが、 食べ物の摂取が健康の維持や生命の保持（エネルギーの獲得）に深く関わっているという着目し、 唾液によるでんぷんの変化を調べる実験や、消化管のつくりと吸収の仕組みを調べる活動を通して、 生命を維持するための体の仕組みについて科学的に探究・理解し、自らの食生活と健康との関わりを多角的に考える力を培うことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等） 消化のしくみ	
成 果 唾液がでんぷんを別の物に変えたり、歯で噛むことで小さくなり体に吸収されやすくなったりと消化の一連の流れを理解したことで、最初の「噛む」ということの大切さを実感できた。	
課 題	